





まして、競馬場が近くにあつて、競馬のある土曜日には屋台がたくさんでていましたね。「あの人きっと敗けたのよね」って、表情や動作でわかりますのよ。わたくしオテンバで六つのときから自転車をのりまわしたり、あさりとりにもよく行きました。夢中になつて潮が寄せてきたのも気が付かなくて。夏になると、本牧のソサイエティ・ビーチとよばれていた渚に小屋がたくさんあつてそこを一軒借りていました。

館長 小学校は。

デンチシ サン・モールで、鷺山



リナ・デンチニ氏

テモセント・ジョセフでしたが、  
女の子はサン・モールで、八時半  
と九時と通学時間が合わないよう  
にしていましたね。途中で男の子  
と話をしているのをみつけられて  
ひどく叱られました。親戚の子で  
したけれども。

館長 教科書はどのようなものを  
お使いになりましたか。

デンチシ 先生は全部は外人で、  
フランス人が多かつたですけれど  
英語の教科書を使っておりました。  
六月か七月に注文してとり寄せる  
んですね。学校では英語がヘタに  
なるから日本語を話してはいけな  
いと。ですからわたしの日本語は  
よくありません。戦争が始まつて  
から日本語を教えられましたけれ  
ども。

館長 遠足なんかは行かれました  
ですか。

デンチシ 遠足といつても、学校  
の裏が原っぱでしたから、小さい  
時はそこだつたり、磯子の山の中、  
今プリンスホテルの建つている、  
アコバラと呼ばれていたあたりにも  
行きました。付き添いの先生がナ  
ン(修道女)の格好をしておりま  
すでしよう、とても目立つんで恥  
しい思いをした覚えがあります。  
館長 母国で教育を受ける方のほ  
うが多かつたのでしょうか。

デンチシ そうでもなかつたでし

ヨセフの他に、インターナショナル・スクール・スクールもありまして、そこは六年まででしたから、その後はサン・モールかセント・ジョセフあるいは東京のアメリカン・スクールに行きました。学校のレベルは高かつたんではないでしようか。アメリカに帰つて学年をとび越えたという話はよく聞きましたからですけど同学年の年令はマチマチでしたね。国籍も問いませんし。

山手の外国人社会

館長 山手での外国人同士のつながりという点ですが、国籍別の集まりかたをするものか、住まわれている家の近所の付き合いが強いものか、いかがだつたでしょうか。デンチシファアミリーということになりますとどうしても国別になりますがつくられますから国籍をこえてコスマポリタンになりますね。

中西 それにクラブやいろいろなソサイエティがありますね。

デンチシ Y・C・A・C

(Yokohama Country and Athletic Club) ローン・テ

ニス・クラブ、ヨット・クラブとか。ユナイテッド・クラブは入るのにとても難しかったのよ。Y・C・A・Cは天氣によつて赤か白のボールを信号としてあげていて山手のメンバーの家々から見ええたの。今日はテニスができるつて。他に行くところがありませんから、そういうつたクラブは盛んにでしたね。

館長 リナさんの教会は。

デンチシ 今はカトリックですが小さい時はユニオン・チャーチでした。代官坂上の六六番にありました。戦争で焼けましたけれど。

震災前まではフェリスの前に立派な教会堂があつたようですよ。

館長 食事でレストランに行つたような御記憶はござりますか。

デンチシ わたくしの頃はニューグランドでしたね。チャイナ・タウンへはコックさんがよく買い出しに行っていました。缶詰なんかは今よりももつと種類がそろつていたんじゃないでしょうか。パンは夕方で焼きたてを届けてくれますし、買い物は御用聞きがきてくれますのですから、たいていのものは下におりなくともすみます。きなんかに作つてもらうのね。クレジットカードで洋服は。

リスマスのフェスティバルは一月前から準備します。アメリカンはター・キー、七面鳥ですけど、わたしのところはイングリッシュですから鷺鳥でした。クリスマス・ツリーは家のあたりに適当なもののがたくさんありましたので。当時の鷺山は広々としていて家もありありませんし、たいていの家では庭で野菜なんかをつくつていましたね。

**館長** お住いのことですが、敷地はどのくらいのものですかね。

**デンチシ** それぞれでしようけれど、五百坪ぐらいはあったのではないでしょうか。ロードさんは、山手の一番から八番まで、地蔵坂の上で今テニスコートになつてゐるあたりですけど、そこを全部ひとりでお持ちでしたのよ。セント・ジョセフのベーリック・ホールの隣もロードさんの家作でした。とにかく当時の家は天井が高くできておりますから、子供だつたせいもありましたけれど、とても大きな家に見えましたね。今は一軒のところが四、五軒になつてしまつていますけど。

**館長** 避暑は軽井沢ですか。

**デンチシ** 湘南や箱根の方が多いたんではないでしょうか。海が近くにありましたから本牧あたりですましておりましたけれど。

**館長** 山手のお正月はどんな様子でしたか。

**デンチシ** 箱根の宮の下に行つて

おりました。獅子舞、猿回し、なんかも山手に来ておりましたのか。御用聞きさんたちは砂糖と手ぬぐいをもつてくるのね。

### 山手の過去・現在

中西 とにかく今では考えられないほど豪華な社交会だつたらしいですね。ゲート座にイタリア歌劇団とかシェイクスピア劇団が来るとかね。

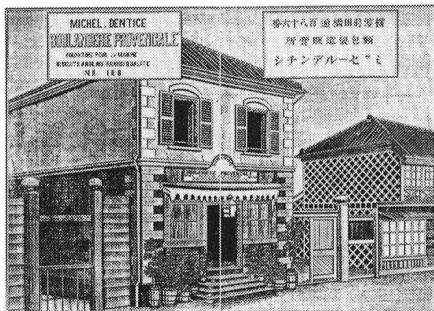
デンチン わたくしのときにはもうゲート座はありませんでしたけれども、シェイクスピア・ヒルとか、オイスター・メアリーのレス・トラントだとか素敵な名前がいくつもありました。イギリスのエンパイアデーにはビッグ・パーティがついて、それからアメリカの独立祭の花火ね。ニューグランロントが本当に素晴らしいました。

中西 わたし思うんですけど、日本とかシエイクスピア劇団が来るとかね。

中西 わたくしのときにはもうゲート座はありませんでしたけれども、シェイクスピア・ヒルとか、オイスター・メアリーのレス・トラントだとか素敵な名前がいくつもありました。イギリスのエンパイアデーにはビッグ・パーティがついて、それからアメリカの独立祭の花火ね。ニューグランロントが本当に素晴らしいました。



中西道子氏



(六月二一日の対談です)

入れいたら、せめて横浜の日本人

(二頁から)

モル商会、それにマックス・ネスラー商会やカール・ルイスなどが製作した。もつともこの頃になると、外国商館といつても、そこで

働いていたのは大部分日本人であつた。

震災前の横浜 絵葉書がつくられるようになる明治三十三年から大正十二年(一九二三)の震災に至る二十数年間は、横浜の繁栄に陰りの見え始めた時期でもあつた。しかし、しひによる不況の足音をよそに、日露戦争の勝利(明治三十八年)や開港五十年祭(四十一年)など、横浜の町はうち続々記念行事に沸きかえつた。そのつど、町は旗や球灯で飾り立てられ、記念絵葉書が飛ぶように売れられた。四十一年のアメリカ艦隊来航歓迎記念絵葉書約二万枚は、初日の二時間程で売り切れたといふ。

震災前の横浜の街並みや、そこで生活していた市民の表情を、今によみがえさせてくれる絵葉書の収集と保存は、当館にとってだけ重要な仕事のひとつである。設立の準備段階で収集されたものが約四千六百点、そのなかには市民の好意によって寄贈されたものも多い。横浜の風景はそのうち三割程度、都心部だけではなく、海と岬の美しさで有名だった本牧や根岸、杉田の梅林・金沢八景・旧東海道の面影をしのばせる保土ヶ谷など、いずれも現在は失われた風景である。他是神奈川県内の各地の風景、やはり江の島や箱根など名勝地が多い。

当館所蔵絵葉書 震災前の横浜の街並みや、そこで生活していた市民の表情を、今によみがえさせてくれる絵葉書の収集と保存は、当館にとってだけ重要な仕事のひとつである。設立の準備段階で収集されたものが約四千六百点、そのなかには市民の好意によって寄贈されたものも多い。横浜の風景はそのうち三割程度、都心部だけではなく、海と岬の美しさで有名だった本牧や根岸、杉田の梅林・金沢八景・旧東海道の面影をしのばせる保土ヶ谷など、いずれも現在は失われた風景である。他是神奈川県内の各地の風景、やはり江の島や箱根など名勝地が多い。

当館に寄贈されている鶴見の旧家、佐久間亮一家の資料のなかにも、江戸時代からの文書・記録に混じって、多数の絵葉書が含まれている。国会議員などを勤めた先代の道夫さんが集められたもので、外国で買もとめたものや、記念行事のたびに、市役所や商工会議所の発行した組物の絵葉書が、五冊のアルバムに丁寧に保存されて

本は居留地の蓄積を使い捨ててきただんではないかと。たとえば、サン・モールやセント・ジョセフの卒業生を積極的に文化教育に受け

モル商会、それにマックス・ネスラー商会やカール・ルイスなどが製作した。もつともこの頃になると、外国商館といつても、そこで働いていたのは大部分日本人であつた。

震災前の横浜 絵葉書がつくられるようになる明治三十三年から大正十二年(一九二三)の震災に至る二十数年間は、横浜の繁栄に陰りの見え始めた時期でもあつた。しかし、しひによる不況の足音をよそに、日露戦争の勝利(明治三十八年)や開港五十年祭(四十一年)など、横浜の町はうち続々記念行事に沸きかえつた。そのつど、町は旗や球灯で飾り立てられ、記念絵葉書が飛ぶように売れられた。四十一年のアメリカ艦隊来航歓迎記念絵葉書約二万枚は、初日の二時間程で売り切れたといふ。

震災前の横浜 絵葉書がつくられるようになる明治三十三年から大正十二年(一九二三)の震災に至る二十数年間は、横浜の繁栄に陰りの見え始めた時期でもあつた。しかし、しひによる不況の足音をよそに、日露戦争の勝利(明治三十八年)や開港五十年祭(四十一年)など、横浜の町はうち続々記念行事に沸きかえつた。そのつど、町は旗や球灯で飾り立てられ、記念絵葉書が飛ぶように売れられた。四十一年のアメリカ艦隊来航歓迎記念絵葉書約二万枚は、初日の二時間程で売り切れたといふ。

当館所蔵絵葉書 震災前の横浜の街並みや、そこで生活していた市民の表情を、今によみがえさせてくれる絵葉書の収集と保存は、当館にとってだけ重要な仕事のひとつである。設立の準備段階で収集されたものが約四千六百点、そのなかには市民の好意によって寄贈されたものも多い。横浜の風景はそのうち三割程度、都心部だけではなく、海と岬の美しさで有名だった本牧や根岸、杉田の梅林・金沢八景・旧東海道の面影をしのばせる保土ヶ谷など、いずれも現在は失われた風景である。他是神奈川県内の各地の風景、やはり江の島や箱根など名勝地が多い。

当館に寄贈されている鶴見の旧家、佐久間亮一家の資料のなかにも、江戸時代からの文書・記録に混じって、多数の絵葉書が含まれている。国会議員などを勤めた先代の道夫さんが集められたもので、外国で買もとめたものや、記念行事のたびに、市役所や商工会議所の発行した組物の絵葉書が、五冊のアルバムに丁寧に保存されて

に唱和した。また史料展覧会が開かれ、ペリー来航や横浜の開港をしのばせる史料の復刻絵葉書が発行された。ひとつの時代が終わる後ようやく開国した。 中西 もう一步進んだ開国が必要ではないでしょうか。

デンチシ 今のボーワーズ・アンド・ガールズは度胸がありますね。どこでも行きますし。でも昔の横浜のほうがコスモポリタンね。今みんなアメリカンでしよう。

中西 斎藤 横浜の外国人社会が消滅したということでしょうかね。

中西 むしろ世界的に分散して横浜がひろがつたと考えたいですね。館長 どうもありがとうございます。

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

\*

## 『日本の赤煉瓦』展余話

## 山手の異人館遺跡

## THE BLUFF 80 MEMORIAL TERRACE

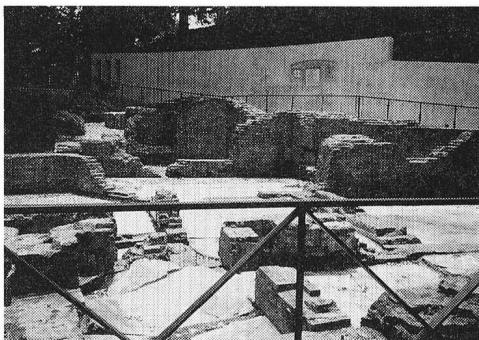
『日本の赤焼瓦』展がオーラン  
したこの四月、山手の元町公園で

煉瓦造異人館遺跡の保全整備工事が完成した。昨年二月、公園内の身障者用園路造成中偶然発見され、工事をストップし全面発掘されたものだ。場所は、元町公園の南側、山手本通りの雙葉学園入口から元町寄りに少し入った斜面に位置する。旧山手居留地の八〇番にあたる。

東大震災により地階部分を残して倒壊焼失、元町公園の造成時（昭和五年）に土をかぶせて埋められていたことになる。発掘が進むにしたがって、玄関、暖炉や煙突の基部、勝手口・内階段の跡、床に装飾タイルを貼った部屋があらわれてきた。北側屋外に煉瓦造の淨化槽もみつかった。山手の歴史に詳しい中西道子氏が、震災當時マクガフーン（McGowan）夫妻の住まいであったことをつきとめた。しかし、建設年代を確定する決定的なキメテを得ることはできなかつた。平面形状などから明治末から大正初期にかけてのものであろうと推定された。建築面積

**村井早稲田大学教授**から本遺構の保全・公開に関し要望書が提出された。本遺構が、(1)「山手居留地の外国人住宅の間取り・規模、建築構造・構法・設備をうかがうことができる唯一の資料として、日本近代住宅史上、また横浜の都市形成史上貴重なもの」であり、

備工事にともない洗浄された壁体を改めて見直してみると、次の五種類もの煉瓦が確認された。



さて、この煉瓦造異人館遺跡に使用されている煉瓦であるが、整

(2) 煉瓦壁の補強鉄棒が「碇聯鐵構法以外の煉瓦壁補強法が存在したことを具体的に示すものとして、また付属净化槽が「建築設備史に貴重な資料を提供するものとして」学術的な注目を浴びた結果のことであつた。

切と増築部と判断されるところに、有孔煉瓦（ジエラール工場製）でもう認められた。

ることができるかもしない。(3)は、新聞広告の社章から、明治二年創業の横浜煉瓦製造会社製のものと判断された。製造所不明。(5)は、本遺構のまさしくお膝元、斜面下谷戸に所在した「シェラール瓦煉瓦石製造

備工事にともない洗浄された壁体を改めて見直してみると、次の五種類もの煉瓦が確認された。

分銅印がついている。小菅集治監製煉瓦は明治二〇年以降分銅印から桜印に切りかえられたのである。明治二三年頃建築された旧最高裁判所（大審院）の根積部かららは桜印のものがみつかっているのでマークの切りかえはこの頃かとも推測される。とすれば、本構の建設年代も両マークの併存期間で明治二〇年代前半期までさかのぼる。

瓦は本遺構の建設年代確定の手がかりとなることに間違いはない。現物が事実として遺されている強みである。調査研究が進むにつれて明らかになることもあるう。今後に期待したい。

# 資料よもやまばなし

## 明治四年の蚕種輸出

西欧的主要養蚕国フランス・イタリアを襲った蚕病の流行は、開港して間もない日本に蚕種輸出ブームをもたらした。長野・群馬などの蚕種生産地では農家が競つて輸出向蚕種を増産し、明治初年に輸入国の総需要を超過する大量の蚕種が横浜に集荷されるに至つた。この供給過多が価格の暴落として一挙に顕在化したのが、普仏戦争の影響でフランス商人が蚕種を買い控えた明治四年である。

当時の輸出蚕種の流通ルートは、ほぼ地方生産農家→地方商人→横浜売込商→居留地外國商人であったが、買取つて荷主となる地方商人にとって価格の暴落は破産に直結する大問題となつた。またそれは、荷主への融通金のこづつきを引起し、外商への販売を委託されたる、地方商人や売込商もまた座視していたわけではなかつた。大量の蚕種の横浜到来を眼前にした彼らは、「蚕種三分ノ一削減」を企図したのである。

この年の「蚕種三分ノ一削減」をめぐる事件の細部についてはまだ不明な点が多い。当館の調査研

究活動の成果である「情報ファイアル・海を渡る豪農たち」が唯一のまとまった文献であるが、ここでは若干の新資料を紹介し、事件の一面を明らかにしておきたい。

最初の資料は、初期段階に属する四年七月三〇日付の原鉄五郎（売込商）から竹内酒造平（長野の蚕種商人）あて書簡の一節（意訳）である。

……蚕種紙は、少しづつ売込

もあつたが益後より景気が悪くなり、二三月一二四日頃には大不景気。横浜入荷高は一四〇〇一万枚余でこの先の売込はおぼつかない。……在浜の荷主たちが協議したところ、入荷総量の三分ノ一を減せば在荷は約一〇〇万枚となり売込の見通しが立つので、その趣旨で四〇五日前から店舗の代表が弁天の今同集会している。最近の会議で、

三分ノ一削減を実行すべきであるとほぼ決まつたが、反対者が

多い。

月・日 売込枚数 月・日 売込枚数

月・日	売込枚数	月・日	売込枚数
6. 9	—	8.20	9,948
7.24	*13,338	8.21	15,662
7.30	—	8.22	21,126
8. 1	—	8.23	18,625
8. 2	—	8.24	7,795
8. 3	21,395	8.25	23,038
8. 4	70,297	8.26	4,798
8. 5	65,589	8.27	52,462
8. 6	46,454	8.28	69,695
8. 7	62,858	9.21	*18,561
8. 8	71,931	9.23	13,461
8. 9	60,030	10.17	—
8.10	32,277	10.21	—
8.11	26,970	12.9	—
8.12	—		
8.13	—		
8.14	記事なし		
8.15	2,408		
8.16	—		
8.17	—		
8.18	350		
8.19	6,224		

・\*は読み取れないものを除く合計  
・月日がとんでもない欠号

(井川克彦)

様より仰せ渡しがあるだろうと（商會所の）一同が見込んでいるようだ。二七日より売込・引取とも差し留めており、昨今は一切取引がない……。

計画は、入荷蚕種の三分ノ一を商會所へ預け外商への売込量を削減し、国内商人の団結のもとに売込みを差控えて価格の上昇を導こうというものであつたらしい。書簡内容の中で注目される取引停止の事実を確認するために、「横浜毎日新聞」の「売込」記事によつて日々の蚕種売込量を追つてみると左表を参照)、七月三十日から八月一日にかけては全くなく、七月二七日から六日間、売込が組織的に停止されたことが推測される。

そして、三日から売込が再開されがすんでから国内養蚕に用いれば公益になると考へ、そのような規則を作ろうと、見本種の外國商館持込さえ差留めるように嘆願し、種々評議していたが、心得違いの商人どもがこの規則の不成立を見込み、つそり売込間屋と示し合わせて抜売りをしてしまつた。……どうか来る一四日まで三日間売込を停止するよう売込間屋へ嚴重に仰せ

渡してほしい。

これが書かれた頃、横浜には数千人の蚕種商人が集まり騒然とした情勢であつたという。この二度目の売込停止は、破産に瀕した地方蚕種商人達が売込商に圧力をかけた結果のものだつたようだ。しかし、一九日からまた売込が盛んに行なわれ、結局この年の年間蚕種輸出量は前年・前々年と同様の一四〇万枚におよぶ大量なものとなつた。しかも、この年の一枚当たり輸出価格は、前後年のほぼ半値にまで大暴落している。

明治四年の「蚕種三分ノ一削減」計画は、そのような規則が布達されることもなく、不売運動の団結もくずれ、効果をあげ得なかつたが、「削減」については、三分ノ一には満たないものの約三〇万枚が商會所に実際に積立てられた。二度の取引停止が確認されるこの事件は、全貌はまだ闇の中にあるが、後年の一連の商權回復運動の原点として、注目に値するといえよう。

綻を見越した一部の地方商人・売込商は、先を争つて売込を再開したのである。

ところが、八月一二日から一八日にかけて再び取引がほとんど停止している。これについては次の資料、八月一二日付の荒井次右衛門たち（地方商人）からの（宛先は不明だがおそらく神奈川県兜とと思われる）嘆願書の一節がある。

……。(価格暴落への対策として)、蚕種商人持荷の三分ノ二で通商し、残り三分ノ一は売込間屋立会の上で封印して省き、商會所へ預けて、外商との取引がすんでから国内養蚕に用いれば公益になると考へ、そのような規則を作ろうと、見本種の外國商館持込さえ差留めるように嘆願し、種々評議していたが、心得違いの商人どもがこの規則の不成立を見込み、つそり売込間屋と示し合わせて抜売りをしてしまつた。……どうか来る一四日まで三日間売込を停止するよう売込間屋へ嚴重に仰せ

綻を見越した一部の地方商人・売込商は、先を争つて売込を再開したのである。

ところが、八月一二日から一八日にかけて再び取引がほとんど停止している。これについては次の資料、八月一二日付の荒井次右衛門たち（地方商人）からの（宛先は不明だがおそらく神奈川県兜とと思われる）嘆願書の一節がある。

……。(価格暴落への対策として)、蚕種商人持荷の三分ノ二で通商し、残り三分ノ一は売込間屋立会の上で封印して省き、商會所へ預けて、外商との取引がすんでから国内養蚕に用いれば公益になると考へ、そのような規則を作ろうと、見本種の外國商館持込さえ差留めるように嘆願し、種々評議していたが、心得違いの商人どもがこの規則の不成立を見込み、つそり売込間屋と示し合わせて抜売りをしてしまつた。……どうか来る一四日まで三日間売込を停止するよう売込間屋へ嚴重に仰せ





日本で絵葉書がつくられるのは、明治三十三年（一九〇〇）からだといわれています。この頃写真製版の技術が普及はじめ、安価にかつ大量に、絵葉書のかたちで各地の風景を紹介できることになりました。写真技術も

アートであり、居留外国人や旅行者が故国へ音信を送る格好の手段となりました。この横浜の絵葉書に魅せられたイギリス人ニール・ペドラーさんの愛蔵のコレクションが、このたび当館に寄託される

ペドラー・コレクション  
絵葉書による震災前の横浜風景』展

発達して、自然で親しみやすい画面構成となっています。西洋伝来の写真技術や印刷技術によって、日本の風景や風俗を写しとり、横浜伝統の人工着色技術によって淡

ことになりました。今回の展示はこれを記念して、氏のコレクションに当館所蔵絵葉書を合わせ、関東大震災で壊滅した「黄金時代の横浜」（ペドラー氏）の姿をしのぼ

地図に見立て、「海の玄関」大桟橋と日本大通りを中心に、当時の街並みを再現します。右半は日本人の町で、「陸の玄関」横浜から野毛界隈、関外に発展し

など、県内では江の島や箱根などの名勝風景も紹介されます。「絵葉書でたどる横浜の歩み」コーナーでは、ペリー来航や横浜の開港をはじめとする史料の復刻絵葉書、開

うとするものです。それは、明治末期から大正初期にかけて、国際港都として成長を遂げた時期の横浜の街や人々の表情を、今によみがえさせてくれます。

左半分は外国人の町で、旧居留地の山下町と山手。内外人のプロ・ナードであった海岸通りや外国居館街・中華街などがこれに含まれます。また、現市内では、海のそつた頃の本牧や根岸・杉田・金沢

元されますが一度とがえることのない昔の横浜の風景を、芸術味豊かな画面構成で保存してくれた横浜の絵葉書屋さんの紹介は、最後のコーナーで行われます。

行事開催予定（六〇年度）

行事開催予定(六〇年度)

- (1)企画展示『ベドラー・コレクション』——絵葉書にみる震災前の横浜風景 (8/1~10/29)

(2)『横浜とガスの一〇〇年』 (10/31~11/10)

(3)特別展示『英外交官』アーネスト・サトウ (11/13~1/29)

小学生（5・6年生）の部	8/8
屋忠之（吉原小教諭）	8/7『横浜に進出した商人たち』
（東小教諭）	8/8『西洋文化を伝えた外国人たち』小関武三郎（神橋小教諭）
橋のひみつ』	8/9『横浜の川と橋』那須晴夫（南神大寺小教諭）
10時30分～12時	定員

(2) 横浜市史講座前期『横浜人物誌』  
講座(開講中) 8／10・24 洋  
画の先駆者——高橋由一と五姓田  
義松—— 青木茂(跡見女大助教)  
授 13時30分～15時 受講料九  
〇〇円

キスト代)	60名	受講料	二二〇〇円
中学生の部	8／6	『横浜開港の立役者たち』	田村泰治（仲尾台中教諭）
大場裕二（橘中教諭）	8／7	『瓦版から新聞へ』	『横浜商人の活躍』桐山有節（永田中教諭）
横浜のまちづくり』馬渕宣充（みたけ台中教諭）	8／9	『町名からみた	横浜（黄兵市下萬葉町明）
定員50名	14時～15時30分	（黄兵人物志）	（含テ）
2)黄兵市下萬葉町明	受講料一、二二〇〇円		

(4) 古文書を読む会～市内地方文書に親しむ～	(開講中)	4／20 2／1の土曜日全20回13時20分
14時30分	講師内田四方蔵（郷土史家）	
15時～16時30分	講師石井孝（津田塾教授）	
15時～16時30分	講師石井孝（津田塾教授）	

三二一

- (1) 『吉村幸兵衛関係書簡第2集』  
(2) 『横浜市史料所在目録第10集』  
土ヶ谷区

(3) 『横浜関係史料所在目録第2集』  
長野県その1

(4) 展示図録『日本の赤煉瓦』

五〇円

▼新着資料

▼閲覧可能複製本

(1) 福田本黒船來航絵巻

(1) ディノクリーント